

昨年10月から本年3月にかけての関東同窓会の活動をご報告致します。
竹高110周年記念式典参加
昨年10月5日に開催された110周年記念式典には、当同窓会を代表して西副会長、長吉相談役、佐藤相談役他が出席し、関東同窓会からの祝辞を述べるとともに大塚校長、恩師をはじめとする諸先生方、110周年記念事業世話人他ご参列の方々との交歓の場を持ちました。当日のメインイベントの一つであるパネルディスカッションには当



幹事長 松良修 二(昭34年卒)

春の幹事会協議事項報告

同窓会の会員で大分県人会の辻亨会長がパネラーとして参加されました。また、会員の皆様からもご協力を賜りました。110周年記念事業募金により、母校校舎の冷暖房施設の新設や2年生10名によるニュージージラント海外研修が実現できたこととの報告を受けました。
修学旅行支援
母校は、初の試みとして、大

学訪問と企業訪問をメインテーマとする修学旅行(東京)を昨年12月に行いました。修学旅行に参加した2年生197名は、12月5日に東大(5研究室)、東工大、筑波大(2研究室)など10大学(15研究室)を、12月6日には丸紅、キャノン、住友化学など15企業を、それぞれ15班に分かれて訪問しました。朝のラッシュ時における宿舎(浦安)から目的地までのスムーズな移動を支援して欲しい



筑波大学 榎正幸教授を訪問

丸紅様を訪問 社会長を囲んで

春の幹事会報告
春の定例幹事会が平成20年3月22日(土)、佐藤相談役、用正会長以下役員、学年幹事、当番学年幹事代表の32名の出席を得て、アルカディア市ヶ谷で開催されました。幹事会で協議された事項は以下のとおりです。
(一)総会・懇親会について
第22回総会・懇親会は6月28日(土)にアルカディア市ヶ谷

という母校の要請に沿い、引率の先生が不足しているグループの生徒達を関東同窓会の有志が引率しました。宿舎から各大学、企業までの路線をラッシュアワーに合わせ事前に試乗し、訪問先の教授や企業の関係者に事前に面会するなど準備を行った結果、無事に引率支援を行うことができました。丸紅では辻会長が一行を出迎えたことなど、訪問企業側での諸先輩の支援も賜りました。関係各位のご尽力により生徒との新たな交流の機会を持つことが出来たことに厚く御礼申し上げます。



早稲田大学 亀田邦明教授の講義風景

○平成19年度会計決算(概算)
平成19年度の収支予測について総会収支、維持会費収支に分けて説明がありました。本年3月末までの収支実績が確定後、監事の監査を受け、総会で承認を得ることとする旨の報告があり、満場一致で承認されました。

○維持会員の状況と維持会費状況
平成20年3月22日現在の維持会員数は410名(443口)で前年に比して29名(26口)増加しましたが、維持会費の未納者が前年とほぼ同数の100名となっております。少子高齢化社会にあつて、現役とOBとの絆、OB相互の交流を深め、より実のある同窓会活動を展開してゆくためには維持会員を増やすことが極めて重要な課題となっております。

○維持会員の状況と維持会費状況
平成20年3月22日現在の維持会員数は410名(443口)で前年に比して29名(26口)増加しましたが、維持会費の未納者が前年とほぼ同数の100名となっております。少子高齢化社会にあつて、現役とOBとの絆、OB相互の交流を深め、より実のある同窓会活動を展開してゆくためには維持会員を増やすことが極めて重要な課題となっております。

以上

「第22回竹田高等学校関東同窓会」

総会と懇親会の「ご案内」

1、日時 平成20年6月28日(土)
11時30分 受付開始 12時00分 総会・懇親会

1、場所 アルカディアa市ヶ谷(私学会館)3階「富士の間」
千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-1020

1、会費 8,000円

1、当番幹事

昭和42・52・62年卒
(62年卒の方が今の所
居ません。お知り合い
の方が居ま したらお
知らせください。)

1、総会

会計報告・監査報
告・新年度の方針等

1、懇親会

田舎の「城原神楽公演」

(52年卒 志賀君の紹介です)
太鼓・笛・鐘のなつかしい
音や荒神に追われ怖かった子
供の頃の思い出に浸って下さ
い。

竹田市長・校長先生が、
ご来賓としてお見えになりま
す。

田舎の現
状や母校の
現況をお話
くださいいま
す。

会場は、
学年別に椅
子を準備し
ています。
先輩・後輩
との交流を
お楽しみく
ださい。

母校の情
報として、
箱根駅伝に
出場した、
後輩2名の
活躍ぶりの
画像や現状
の高校生の
活動風景を



城原神楽

ビデオ放映の予定です。
当日は、「城原神楽」をお
楽しみください。伝統継承者
の励みにもなります。大多数
のご出席お待ちしております。

企画委員長 井手得郎(41年卒)
平成20年3月28日

新宿御苑でのお花見

井出 得郎(昭41年卒)

3月最後の日曜日、青空
の広がる新宿御苑で竹田高
校関東同窓会の有志16名の
皆さんで、お花見会を開き
ました。

用正会長、西副会長、津下
副会長、松良幹事長、その
他多くの仲間が集まりました。
東京の桜はき
まぐれ(早く咲き
すぎる意味?)と
言われております
が、その気まぐれ
な満開の桜の下、
やや肌寒い風の日
でしたがお天気も
終日もって、手弁
当の気軽な花見の
会ができました。

今後も毎年3月
の最後の日曜日に
新宿御苑新宿門内
左手に12時集合と
いうことで継続す
ることになりました



第一回新宿御苑でのお花見会

た。臥牛やホームページに
て皆様にもお知らせしま
すので、お仲間の同窓生に広
めて頂きたいと思ひます。

竹田高校関東同窓会の皆
さん、来年またお会いしま
しょう。

予定2009年3月29日(日)
12:00 新宿御苑改札口

(写真は、52年卒・後藤さん
/清水さんのご提供による
ものです)

栗生前副会長を偲んで

安藤 紀 (昭39年卒)



故栗生利信氏(昭和23年3月旧制竹田中学校卒業)は法政大学ご卒業の後は長年第一石産運輸にご勤務され同窓会では平成7年から10年間副会長として主として同窓会の組織の維持拡充に尽力されました。

歴代組織委員一同より感謝と併せ謹んで追悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

合掌



「佐藤前広報委員長を偲んで」

竹田高校関東同窓会 顧問

神田 清 (昭26年卒)



竹田高校創立百十周年記念式典に参加の為、昨年十月五日(金)母校に到着すると、真先に佐藤毅士氏他界の訃報を伺い大変驚いた次第です。

この機会に前委員長佐藤氏を偲んでみたいと思います。先ず第一は「ご本人の素晴らしい人柄・幅広い交流に」感服させられた次第です。処で、この世の中で「人と人との触れ合い程」大切なものはありません。佐藤毅士氏が以前札幌にて勤務中、小職の前職場・明治製菓㈱の札幌支店長とのご親交があったと言ふ事で竹田高校関東同窓会での最初の触れ合いの折から非常に心良く広報委員としての協力を快諾頂きその後20年余年間全面的なご支援を頂けたことを第二にご紹介致し感謝申し上げます。

いと存じます。

実際の臥牛編集に関しては、幅広い見識を活かし常にリード頂き広報委員長として同窓生の為の広報誌「臥牛」発行の主な目的と役割をご認識頂き①関東同窓会の活動状況の伝達 ②同活動記録の保存、会員相互の親睦と情報交換・伝達を目指して編集されてきました。

又、本文中の「わがふるさと名所紀行・郷土紹介の記事」は本人が直接筆稿され、郷里を遠く離れて暮らす在京会員は非常に期待して懐かしく楽しまれたものでした。

この機会に歴代広報委員長のご紹介を申し上げますと共に歴代広報委員長

(発行号)

① 足立五郎 委員長

第一号→第十一号

② 神田 清 委員長

第十二号→第二十五号

③ 佐藤毅士 委員長

第二十六号→第三十一号

④ 田部修士 現委員長

現在に至る

歴代広報委員一同より感謝と併せ謹んで追悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

在京大分県人会

創立80周年記念祝賀会のご案内

在京大分県人会(初代会長・河合陸軍大将)は昭和3年(1928年)に創立されました。今年、創立80周年(第34代会長 辻 亨 竹田高校32年卒)を迎えます。東京に初めて地下鉄が開通したのもこの年でした。以来ふるさと大分を離れて、首都圏で暮らす同郷の人達が、年齢を問わず、あい集い、忌憚のない話がでる場として、親しまれてきました。

県人会の活動は年々多岐にわたり、楽しく、しかも有意義な会として発展しつつあります。老人会?等と云われた事も有ったようですが、我が先輩 辻新会長様の御発議でまたまた充実して参りました!

主な行事を挙げてみますと、
*新年会 *春季総会 *納涼会 *社会見学会 *秋のお楽しみ会 *昼食懇談会(講師をお招き)
*花巻会(女性の企画による食事と懇親会) *異業種の会 *青年部の会(30!

40代) *故郷訪問の旅、等であります。
今年5月25日(日曜日)には、1,300人の参加者が集い盛大に80周年記念行事を行います。美味しい料理と数々のアトラクションなどで、ふるさと大分を一日丸かじりしましょう!

参加費	10,000円(前売り8,000円) 中学生以下無料
日時	平成20年5月25日(日) 10:30受付開始
場所	東京プリンスホテル 港区芝公園3-3-1
予定のアトラクション	・豊後くれない太鼓 ・鶴崎踊り その他

是非参加してください。

前売り券、県人会入会申し込みは在京大分県人会竹田地区役員 加藤興史 あてにご連絡ください。

電話(FAX)

044-855-6185

燃える!!

クラス会・同期会

「竹田高校37会45周年記念同級会」を終えて

昭和37年卒 実行委員長
桃溪 謙次郎(2組)



竹田高校37会45周年記念 懇親会

平成19年度37会 於 グランドプリンスホテル新高輪

竹田高校37会45周年記念同級会は、平成19年9月30日(日)にグランドプリンスホテル新高輪に於いて懇親会、翌10月1日(月)にはバスツアーと2日間に渡った行事を盛会に終了することが出来ました。

懇親会には、北は北海道から南は宮崎まで85名の同級生に出席していただき旧交を暖め合うことが出来、また、バスツアーには53名が参加して都内観光を楽しみむことが出来ました。

出席されました皆さまには本当に心から御礼申し上げます。高校を卒業して45年、もう63歳、64歳の年です。かなりおじいちゃん、おばあちゃんになっているのではと受付をしながら期待?と不安の念でいました。が、受付が始まり出席された皆さんの姿を見ていると、期待?も不安も払拭されました。最近の60代は若いなどつくづく感じました。

2組古沢君、3組工藤君の楯金(ジュンキン)コンビの絶妙な司会で懇親会が始まり、会場は絶えず笑い声に満ちて、久しぶりの再会を本当に楽しむ姿が会場のあちこちで見受けられました。

懇親会の歓談の途中で、広く各クラスからスピーチをお願いして12名の方々にスピーチをいただきました。まだ現役で頑張っている人や社会の荒波を乗り越えて人生を楽しんで過ごそうと人生設計をしている人など

様々な生き方は、大いに励みになるものでした。そして、懇親会の最後は校歌斉唱と全員輪になってのストームで、高校時代の気分に戻って大いに盛り上がりました。

このあとは品川の町に繰り出しての2次会、そのあとホテルに戻っての3次会と夜の更けるのも忘れて楽しく飲み、そして語り合いました。

翌日のバスツアーは、小雨が降ったり止んだりでしたがなんとか天気の方ももち、皇居内の見学では、天皇陛下に着任の拝謁をする「エジプト」と「ルクセンブルグ」の大使の馬車列を観る事ができてラッキーでした。

そして浅草での昼食後隅田川の船下りをしました。お昼のアサヒビールが効いたのか、心地よい舟の揺れで居眠りをされる人が多かったように見受けられました。船内のガイドさんの案内を聞きながら、隅田川に架かる15橋をくぐって日の出桟橋に到着。このあとは日の出桟橋からバスに乗り換えてお台場見学、景色が昔とすっかり変わったのに驚いている人が多かったようでした。

再び品川駅に戻ったのは計画通り16時30分、2日間楽しんだ45周年記念同級会も終わりの時を迎え、バスから降りてそれぞれ名残惜しく次回の再会を誓って

解散しました。お疲れ様でした。今回の卒業45周年記念同級会の準備は、半年ほど前から各クラス幹事と協力者の人達が一丸団結して推し進めて参りました。いざ準備を始めると、色々な問題が山積して本当に大変でしたが、任務分担を決め、任務に付いた人達がそれぞれ手際よく仕事をしてお陰でこのような会を開催することが出来ました。

お世話していただいた方々に大変感謝しております。ありがとうございます。

今回は、5年後に卒業50周年記念を竹田の幹事の人達が中心になって行うことがこの度の懇親会で決定され、バトンタッチの儀式が盛大に催されました。竹田の幹事の皆さん次回はよろしくお願ひします。では皆さん、5年後にまた元気にお会いしましょう。

平成19年10月吉日

平成19年

竹田会総会・懇親会

田部 修士(昭42年卒)

平成19年11月22日午後6時より、私学会館・アルカディア市谷において竹田会が開催されました。初めに司会の志生野さんの発声で元同窓会相談役の高宮昇様(昭和8年竹田中学卒)初め

今年亡くなられた物故者の方々への黙祷が捧げられた。

里見会長より、「財政問題初め、医師不足や過疎化の進展による人口減などの問題が指摘されており、地元の関係者の御苦勞をお察しする。しかし、来年開催される大分国体のソフトボール・山岳が竹田市で行われることが決まり地元は盛り上がりつつあり、また稲葉ダムの工事も完成間近とお聞きし新しい観光の目玉となるのではと期待している。」と挨拶された。

続いて、竹田市からの来賓より挨拶があり、まず牧市長より、「先週竹楽が盛大に開催され、特に土曜日は身動きが取れない程の人に集っていただいた。ところで暫定税率低減で地方は予算が組めない状況にある。皆様アンテナショップになって竹田の事をいただきたい。企業誘致も頑張っているがなかなか思いうような良い報告ができないでいる。ご一報いただければどこでも飛んで行きます。皆さんの故郷に対するあつき思いに期待しています。

お待たせした。岡城のCGがやっと完成し持参したのでは非買い求めて欲しい。函館四天王の一人渡邊熊四郎が古町出身であった。」等々、報告かたがた挨拶があった。続いて、首藤県議より「3期目の議席を頂き御礼申し上げます。芹洋子さ

んにお目にかかった。同じ芹川が直入にあるのでは是非長湯にきてもらいたい。阿久悠さんが、是非竹田の歌を残して欲しいとの声で「古城の月」を作ってくれた。皆さんにも第二の荒城の月として愛唱していただきたい。」今年より大分県人会会長に就任された丸紅・社会長は「竹田会の集まりはすばらしい。竹田会が全てに優先」と挨拶された。

大分県事務所・河野所長はじめ地元からの来賓紹介の後、長吉副会長が「夏が過ぎたら一足飛びに冬が来たような天気ですが、負けないで頑張りましょう」とご発声、一同乾杯で懇親会がスタートした。

特別ゲストの二橋進吾さんは、司馬遼太郎さんとの若い時分の会話に触れてお話しを頂いた。「司馬遼太郎さんは、40の坂を越すのがこれほどつらいことかと思わなかった。この期に、日本一の作家になると誓う。自分には明治人の気構えがなかった。20世紀、日本という国が40の坂を越すのではないかと。と、何十年も前にこの国を予想されていた。今、国中が混沌の中にある。坂を越す辛さ。やがて、未来に登り坂となる坂を越す若い人たちの時代がくる。その若い人たちに期待する。司馬さんがもう一度現れてくるような気がしてならない。NHKの「坂

の上の雲」は是非ともすばらしい番組となるよう期待しています。」と。

岡城復元のCGを見ながらの食事と懇談で会はいつものに増して盛り上がったところで、お待ちかねの芹洋子さんが壇上へ、「芸能生活35周年で記念のCDを作った。全部芹洋子、嫌と言おうほど芹洋子です。是非お買い求めを！」(大笑い)。自分のPRのついでに娘さんがマネージャーを努める若手グループ歌手、ジョンロス、の紹介があり、前座として、「旅人よ」が披露された。ジョンロスと芹洋子さんの熱演で会は大幅に時間が延長になったが、「四季の歌」、「坊がつる賛歌」の熱唱で会場は最高潮に達した。

最後に、牧市長、首藤県議、里見会長、長吉理事長、社会長其他多くの来賓と荒城の月を

合唱して会の幕を閉じた。芹洋子さんと竹田会の縁を取り持った佐藤映之前住人协会会长による締めの後も、参加者の面々は名残を惜しみ会場に残り、芹洋子さんとの記念の撮影も延々と続いた。混雑にまぎれて私も握手して来ました。



芹洋子さんの熱唱



里見竹田会々長挨拶



竹田よりの来賓紹介

平成19年11月22日
2時〜3時30分
竹田会・同窓会連絡会

田部 修士(昭42年卒)

平成18年の竹田会に先立ち午後2時より竹田市からの来賓を交えて、日本パーカライジング会議室にて関東同窓会、竹田会の連絡会が開催された。

以下、ご出席の役員のご発言を報告します。

○後藤同窓会長

竹田高校の110周年記念事業が盛大に開催でき皆様のご協力の賜と感謝します。今後記念誌編集がのこされておられ、ご協力者のお名前なども報告させていただきます。10月5日現在の賛助金合計は2265万円。

○菅観光協会会長

地元活性化(元気を出す)の目的で直入を加えて各地をまわめツーリズム協会を設立した。今年竹田は想像を絶する人出であった。関係スタッフは全て手弁当のボランティアで、1年を通じて里山保全をしているその一環。竹を全国に売り込んでいく。

○甲斐商工会議所会頭

地域活性化として阿蘇市、豊肥地区の連携で新ブランドを作っていく。厚生労働省の支援(3年で7500万円)により、竹田市経済活性化促進協議会を設置、食育ツーリズム雇用創設大作戦を展開している。地元でできることから積極的に起業を呼びかける。

市内宿泊施設としては、昨年ドイツからの一行をお寺に泊めて大好評であった。色々工夫の余地がある。

○首藤県議

合併後3年、県内58市町村は18市町村になった。

小泉さんが残した負の遺産が大きく、竹田も少子高齢化の例にもれず、地方の中でも地域間格差が大きくなっている。竹田の特徴を生かして、歴史文化に光を当てた雇用、人脈ネットワークを構築、地方再生に結び付けていきたい。街の個性を生かした長期滞在型が望ましい。

○古庄幸一さん

過疎化して人も減っている。人頼みの企業誘致は無理。道路も予算が付かない。地方の少子高齢化を認めてそこからスタートすることが大事。

竹田はだれにも頼んだわけではない。今あるものを活用すること。道路の幅も広げない。お年寄りが多いのであればお店の前に椅子を用意していつでも休めるようにするとか工夫はある。

○板井商店連合会長

地元商いの大事にしていきたい。

空き店舗を利用して落語の会をおこなった。

○その他

加藤さん・紫草のシヨールが高島屋では65000円で売っている。

11月25日NHKの番組で、42年卒の白石哲也さんがダークダックスの伴奏をする。

「廣瀬武夫物語」を
脱稿して

櫻田 啓

竹田高校OB会のみなさま、
貴重な紙面をお借り致しまし
て、一言ごあいさつを申し上げ
ます。

私は、大分県九重町の出身で
す。都内で小さな出版社の代表
をつとめながら、作家活動を続
けております。これまで、禅海
和尚の「青の洞門」、大友宗麟
の「幻のジバンク」など、豊後
の国にまつわる偉人をテーマに
歴史小説を上梓してまいりまし
た。

三年ほど前から、日本海軍の
英雄であります軍神廣瀬武夫の
生涯記にとりかかりまして、こ
のほどようやく脱稿するに至り
ました。近日中に、いずれかの
出版社から刊行される予定でこ
ざいます。

この間、廣瀬神社の例大祭に
もお招きをうけ、商工会議所
では講演の機会も与えていただ
き、さらには「関東竹田会」の
出席もお許しをいただきました
。また、廣瀬宗家、廣瀬神社
敬神会のみなさま、竹田市のみ
なさまはじめ、多くの方々から
激励をいただきました。

竹田高校OB会の皆様がいず
れの会にも重複されております
ので、ここにあらためまして、
厚く御礼を申し上げます。

さいわいにして、来年予定さ
れておりますNHKのスペシャル
ドラマ「坂の上の雲」の放映
まえに、この本が刊行されそう
であります。

NHKのドラマとともに、廣
瀬武夫という偉大な人物が、竹
田という「粋な町」(司馬遼太郎)
が、そして明治というこの国の
黎明期が、一躍世の脚光を浴び
ることになれば・・・そのよう
な期待を抱いているところであ
ります。

さて、この本には、
メイン・タイトルとして
「ウラルの風になって」
サブ・タイトルとして
「アツキ・オフイサル」

廣瀬武夫物語

と冠しました。
内容は、廣瀬武夫少年の竹田
時代から、海軍少佐として旅順
港口閉塞作戦による壮烈な戦死
まで、36年間の生涯記となつて
おります。

廣瀬武夫が海軍の軍人にとど
まらず、当時の日本における第
一級のロシア研究者であったこ
と、さらには卓越した文人であ
り、しかも今日の日本柔道(講
道館)草創期において活躍した
柔道家であることなどはすでに
皆様ご案内のとおりでございま
す。

この本は、トリビュート小説
として廣瀬武夫を身近にとら
え、「わかりやすく、読みやすく」
書き下ろしたつもりでござい

ます。なかでも、ロシアにおけ
るアリアズナ娘とのAmour
(悲恋)を通して、廣瀬武夫の
人間像にもせまってみました。
刊行されました折にはぜひ
ご一読ください、ご叱責、ご批
判いただければなお幸甚に存じ
ます。

竹田高校OB会のみなさまの
ご隆盛を祈念申し上げ、ごあい
さつといたします。

廣瀬武夫研究会発足
の準備会開催について

甲斐 正章

時下ますますご健勝のことと
お慶び申し上げます。

さて、上記について、NHK
大河スーパードラマ「坂の上の
雲」に廣瀬武夫が登場します。
この機会に廣瀬武夫の検証と竹
田市の知名度アップができれば
と考えます。

つきましては、廣瀬武夫研究
会を発足し、この研究会をどの
ような視点で取り組むかについ
で、皆様のご意見をお聞きし、
事業の推進を図っていきたくい
と考えます。

オブザーバー参加

竹田市長 牧 剛尔

NHK制作委託会社

フェニックス社長 佐々木亨

文理大教授 辻野 功

大分県議会議員 首藤勝次

昭和十六年卒(四十回
生)の竹田市近郊戦没
者慰霊碑参拝報告

河野 祐司

この慰霊碑は、平成十二年三
月当時の村山総理揮毫の戦没者
慰霊碑で、緒方町に建てられて
います。

平成十八年の十月、会社の
OB会で久々に会った友人か
ら、建立される迄の経緯を聞き、
元気なうちにと、中学時代の
クラスメートに声を掛け、後

藤文武・清田宗夫・山口博通・
伏野宗孝の諸兄と参拝、若くし
て散華された御霊にお花を手向
け御冥福を祈り御供養申し上げ
た次第でした。

私達も早や人生終章に入り郷
土出身の兵士の御霊に大いなる
感謝の気持ちをも、果し得たこ
とで、幾許かの安堵の気持ちを頂
いた次第でした。

祀られた兵士達について友人
から伺ったお話は要約次の通り
でした。

友人の父君が、兵士達の所属
する歩兵第一四七連隊の連隊長
(福岡出身)で、他の兵士は、

大分・宮崎・鹿児島出身との
こと。輸送船3隻に分乗、南方
スンダ列島南端スンパワ島に向
かって進行中、「日南丸」が無

事にも敵潜水艦の魚雷をうけ撃
沈。連隊長他兵士一四七名があ
たら惜しむべき命を散華されま
した。痛恨はいまだ消え去りま
せん。

戦後九死に生を得られた山中
博文氏が郷里緒方町に戻り、長
年望んでいた戦友の御霊を祀る慰
霊の碑の建立を思い立ち、御自分
の土地と私財を投じ又有志の方の
献金も仰ぎ、村山総理の揮毫に
なる慰霊碑が完成した。

参拝の後、氏の邸宅に招かれ
て、茶菓のおもてなしを頂き、
淡々と、かつ力強く語られる話
を拝聴することが出来ました。

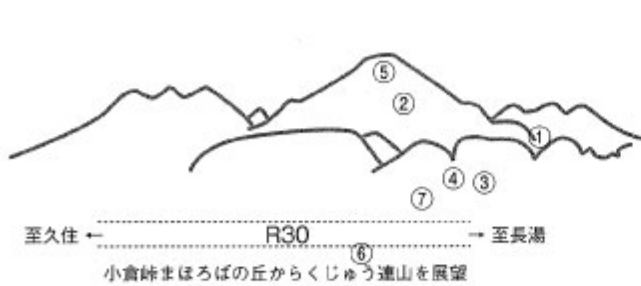
当時すでに八十七歳でした
が、お元気で我々の参拝を喜ば
れ、すばらしいひとときを戴い
た想いで山中邸を辞去すること
が出来ました。

この慰霊碑の存在を知る人は
あまり居られない様で、願はく
ば、郷里にお帰りになる機会が
あつてお時間が許されるなら、
ぜひ当碑へのお参りを願ひ、お
守をされておられる老々山中博
文氏へ暖かい言葉をお掛け頂け
ますればと思います。

(註) 部隊の名が第一四七連隊、
戦死者が一四七名、隊が原隊か
ら出発してから一四七日目の昭
和十九年三月二十七日撃沈、こ
の数字の不思議?)

ふるさと名所紀行

工藤 敏暢 (昭29年卒都野出身)



- ①難攻不落の堅城 山野城跡
約2km離れたところに朽網宗曆の墓石
- ②天下七賢将の一人と云われた中川入山公廟(国指定史跡)
- ③宮処野神社
- ④湯の上古墳・原田遺跡(竹田高校民俗クラブ昭和40年発掘調査)
- ⑤ミヤマキリシマ群落 (国指定天然記念物)
- ⑥万葉集巻11に残る朽網山歌碑 (都野山村広場)
- ⑦30号線沿いには七里田温泉他、各種泉質の温泉多数

九州のほぼ中央に位置するくじゅう連山の魅力について今さら述べるまでも無いが、折あらばあらためて、くじゅう連峰南麓の名所・旧跡・歌碑等々の素晴らしさを満喫してみても如何でしょう。心の豊かさを取り戻し、きつと何か再発見ができると思います。

本稿では、くじゅう連山の内、主として都野(景行天皇と都野)について紹介します。景行天皇が熊襲征伐のため、周防国(山口)から豊前国(北九州)を経て、それぞれの豪族を従えながら碩田国(大分)に進軍するのであるが、この地の広さに驚いた様子が手に取るように分かる。黒岳の裾野道(左図①)を通って来田見邑に到着したと推測される。此地(左図③)に行宮を建て、土着の土蜘蛛征伐を実行することになる。この経緯について、日本書紀からの抜粋を掲載するので、ご一読ください。この行宮を景行宮と呼称したが、幾多の変遷を経て、明治四年に宮処野神社と改称され郷社となった。祭神は景行天皇・嵯峨天皇・日本武尊・天照大神、他多くの神が祭られている。

由緒ある宮処野神社の大祭は、八八三年(元慶七年)に始まり、毎年十月十五日・十六日に神保会と称して執り行われる。地名が市というだけに、以前は県内外からの見物客が押し寄せ大変な賑わいがあった。県の無形民俗文化財であり、また周りの社叢も県天然記念物指定の神社である。

豊後風土記によると景行天皇が「この邑の泉の中にオカミ(サンショウウオ)又は、いもりと思われる)が住んでおり、臭いだろうからこの水を汲むな」と云ったことから、この地域をクサイズミと呼ぶことになり、訛って球草から更に広範囲にわたる朽網郷となり明治二十二年、町村制施行時に有氏村・仏原村・柏木村三村の共通項が宮処野神社であったことから都野村と改められた経緯がある。昭和・平成の大合併で現在は都野の地名が無くなったので敢えて以上のことを記した。

〔日本書紀抜粋〕十二代景行天皇十二年冬十月の記事九州にいる熊襲が朝貢しなかつたため征西を決意し、軍勢を發した。周防国から豊前国に入り、この地方の豪族を従え碩田国其地形廣大且つ麗(因名蹟田(大分)也)に兵を進めた。途中速見邑で速津姫が自ら迎えて情報を申し上げた。

「茲山に大きな石窟あり、鼠石窟と曰う。二の土蜘蛛あり。其石窟に住めり。一を青と曰い、二を白と曰う。又於直入県の榑野に三の土蜘蛛あり。一を打猿と曰い、二を八田と曰い、三を国林呂と曰う。是五人並是為人、強力亦衆類多之皆皇命に従はじと曰へり。もし強に喚ばば、兵を興して距がむ。」と。天皇惡みたまいて進行すことを得ず。すなわち来田見邑に溜り、榑に宮室を興てて居します。よりに群臣と議りて曰はく、「今多兵衆を動して土蜘蛛を討たむに、土蜘蛛若し其れ我が兵勢に畏將山野に



②-1) 宮処野神社



②-2) 社史

どの神社にもほぼ同様の廟記となっている。

隠しに必為後憂。中略」山を穿ち草を排ひて石室の土蜘蛛を襲ひて、稲葉川上而被其の黨を悉殺し血流涙に至る。中略」

海石櫛の作椎之処を號海石榴市と曰ひ亦血流之処血田と曰ふ也。

復將に打猿を討たむとして榑疑山を度る時、賊虜之矢機山自射。於官軍前流ること雨の如し。天皇更に城原に返りて。於水上而上。便兵を勸へて先ず八田を榑野に撃ち破りつ。爰に打猿勝つまじきことを謂いて服と請。然不聽矣皆自投洞谷而死。以下省略

この度景行天皇の土蜘蛛退治に関わる足跡を実兄の案内を得て辿ってみた。車で全行程約一〇〇km8時間を要した。拠点となった宮処野神社・榑神社(白丹・稲葉川上流)・榑野神社(菅生)・榑木神社(柏原)・城原神社(竹田)以上山あり、溪谷あり、急流あり、戦いながら当時としては大変な行軍であったことが想像できる。尚、文中にある血田と海石榴の所在地を知りたくて竹田市役所を訪問して調べたが、不明であった。また、景行天皇に関する各神社の由緒書きはほぼ似通っていることを付け加えて、この紀行を終わりとします。

訃報

慎んでお知らせ申し上げ、心からご冥福をお祈り致します。

物故者御芳名

栗生 利信様(昭23年卒)
平成19年12月5日 没
佐藤 誠一様(昭27年卒)
平成19年12月13日 没

※何らかの方法により、事務局へ連絡を頂いた方々を掲載しております。

一巡目国体

国体開催まであと半年あまり、本大会に向かつて準備も大詰めを迎えています。竹田市は、ソフトボール(成人男女及び少年少女の三種別)・ラグビーフットボール(成年男子)・山岳(全種別)の3競技を開催します。なかでも山岳は大分国体から競技内容が大きく変わり、これまでの縦走から人工壁で行うクライミング(リードとホルダリングの2種目)に変わりました。このほど壁も完成し、竹田高校の生徒をはじめ県内の候補選手が強化練習を行っています。

また、今年はオリンピッククイヤーです。齋藤監督率いるソフトボール日本代表チームもメダル候補というところで特に盛り上がりを見せています。国体には代表選手も多数参加しますので、結果如何ではソフトボール会場は大盛況になるのではないかと期待と不安を募らせています。全国から訪れる選手役員や関係者を「もてなしの心」で歓迎し国体の成功を目指します。



会員の皆様へお知らせ

竹田市の主な行事

- 4月6日(日) 第60回岡城桜まつり
- 5月27日(火) 広瀬神社例大祭
- 6月28日(土)～30日(月) 第61回大分県民体育大会
- 7月19日(土)～20日(日) 竹田夏越祭
- 8月15日(金) 平和記念祭・阿南惟幾大将年忌祭 精霊流し
- 10月3日(金)・5日(日)・7日(火) 第63回国民体育大会
- 10月17日(金)～19日(日) 第62回滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール
- 11月14日(金)～16日(日) 第9回たけた竹灯籠 竹葉(ちくらく)
- 11月21日(金) 竹田会

詩歌・文芸

河野 祐司(昭16年卒)

野苺を見つけ幼き日に還る

かなかなの短か世閉じる歌哀し

今宵咲く月下美人に酒酌まん

ムツゴロウ求愛ジャンプひたすらに

母のこと母の遺せし雛に聴く

雛どのへ妻は何やら語りかけ

◆

後藤 紀子(昭28年卒)

いくたりも女人の涙掬ひけむ

水月観音か秋の灯の下

文学の哲学のはた宗教の

偉人ら眠る山の寂けさ

広重と加賀の千代女と打ち連れて

入谷朝市朝顔のなか



あとがき

※「投稿」をお待ちしています。この会報は会員皆様方の情報交換の場として編集しています。関東同窓会全員の方々の投稿を期待していますがその数が少なく苦労しています。お互いの交流の場としてぜひお活用下さい。委員一同

投稿内容

- ①クラス会情報
- ②故郷の便り
- ③海外便り
- ④会員の語らい
- ⑤詩歌・文芸
- ⑥会員の催し
- ⑦会員消息
- ⑧その他

連絡先

〒103-0027
東京都中央区日本橋1-15-1
日本パーカライジング
田部 修士 宛
(広報委員長)
TEL 03-33478-4307
TEL 03-33478-4307
FAX 03-33478-4309
mailto:stanabe@parker.co.jp

